

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		アウラ		公表日		R 8 年 4 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・利用人数に合わせて配置を考え安全に過ごせるようにしている ・利用人数や利用者状況に合わせている	・医療的ケア児の増加に備え、安全確保のための動線の見直しを継続する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・スタッフで連携し、声を掛け合いながら子どもの状態をみている ・十分なスタッフが配置されている	・利用児童の重症度や医療的ケアの内容に応じた柔軟な人員配置体制の強化 ・新規職員への育成・研修体制の充実により、支援の質の均一化を図る	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	特にコメントなし	・視覚的にわかりやすい環境設定（表示・導線）の更なる工夫 ・車いすやストレッチャー利用時に配慮した環境整備の継続	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・活動が必要な子どもには、スペースを作ったり、それぞれに合わせた環境を作っている ・毎日の清掃がきちんとされている ・日当たり、換気など十分である	・個々の発達段階や興味に応じた活動内容のさらなる充実 ・長時間利用時の疲労軽減や体調変化への配慮体制の強化	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・午睡が必要な子どもには落ち着いた場所を提供し安心して過ごせるようにして ・子どもが落ち着いて過ごせるようスペースが配慮されている	・利用児童の特性や状態に応じた個別対応のスペースのさらなる確保と環境整備の強化	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・目標と振り返りをあまり実施したことがない	・目標設定および振り返りの実施頻度にばらつきがあるため、定期的な評価・見直しの仕組みを明確化する ・職員間での共有方法を統一し、継続的な業務改善につなげる体制の強化	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	特にコメントなし	・保護者からの意見をより具体的な支援改善に反映させるため、フィードバックの仕組みを強化する	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・職員間のコミュニケーションは良くできており問題点など、その都度改善できていると思う ・必要時、スタッフ同士で意見を伝えあっている	・職員間の意見交換の機会をさらに充実させ、業務改善への反映をより明確にする	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	特にコメントなし	・外部評価の実施機会を検討し、客観的な視点を取り入れたサービスの質向上を図る	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・e-ラーニングを取り入れて、いつでも視聴できるようにしている	・個々の職員の経験やスキルに応じた研修内容の充実 ・実技研修や事例検討を取り入れた実践的な学びの強化	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・介入するスタッフが個人ファイルを確認することができる。	・支援内容の可視化を進め、利用者や家族に分かりやすく情報提供を行う	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	特にコメントなし	・アセスメント内容の共有を強化し、職員間での理解の統一を図る	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・個別にファイリングされて、日々確認できるようにになっている	・支援方針の共有方法をさらに明確にし、支援の一貫性を高める	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・個別のファイルに計画書をまとめていつでも確認して、それぞれに合った支援を行っている	・日々の支援記録と計画との連動を強化し、より効果的な支援につなげる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	・標準化されたツールは使用されていない	・標準化されたアセスメントツールの導入・活用を検討し、評価の客観性と一貫性を高める	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・多職種と連携しながら支援につなげている	・各支援内容についてガイドラインとの整合性を定期的に確認し、支援の質のさらなる向上を図る	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・日々の活動は保育士・児童指導員が主体となり考えている	・多職種間での意見共有をさらに促進し、より多角的な視点でのプログラム立案を行う	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・季節に合わせて内容を取り入れ、楽しく過ごせるようにしている ・毎月、表を作成して、SNSでも上げている	・活動内容のバリエーションをさらに拡充し、個々の興味・発達段階に応じた柔軟な対応を強化する	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・それぞれのこどものタイムスケジュールに合わせて取り組めるように考えを行っている	・個別活動と集団活動のバランスを定期的に確認直し、より効果的な支援につなげる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・1日の流れを確認し、スムーズに支援が行うことができるよう声を掛け合っている	・情報共有の方法を統一し、より円滑な連携体制の構築を図る
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	特にコメントなし	・振り返りの機会を定期化し、支援の質向上に向けた継続的な改善につなげる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	特にコメントなし	・記録内容の質と向上と活用方法の見直しを行い、より効果的な支援改善につなげる
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	特にコメントなし	・モニタリング結果の共有を強化し、支援計画への反映をより迅速に行う体制を整える
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	特にコメントなし	・各活動の目的を明確化し、支援内容との関連性をより意識した取り組みを推進する
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・子どもの意見に耳をかたむけ日々の活動に反映している ・集団活動の内容も個別に合わせて楽しめるよういくつか用意している	・子どもの意思表出をより引き出す関わりを強化し、選択機会のさらなる充実を図る
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	特にコメントなし	・関係機関との情報共有をより密に行い、継続的な連携体制の強化を図る
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	特にコメントなし	・医療・福祉・教育機関との連携をさらに強化し、支援の一貫性を高める
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・担当者会議の開催後、事業所内で情報共有	・学校との情報共有をより定期的に行い、支援内容の統一を図る
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	特にコメントなし	・就学前施設との連携会議を増やし、スムーズな移行支援につなげる
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	・まだ対象者なし	・将来の移行を見据えた支援の検討を早期から行い、関係機関との連携体制を構築する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	特にコメントなし	・専門機関との連携機会を増やし、スーパーバイズや研修の活用を推進する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・お出かけ時、他の子どもと交流あり	・地域との交流機会を計画的に設定し、社会参加の機会を拡充する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・関係機関と会議あり	・地域の協議会や研修への参加を促進し、情報収集および連携強化を図る
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時に日々のこどもの様子を共有できていて良いと思う ・LINEを通じて、こどもの状況を伝え保護者と共有できている	・保護者との情報共有方法をさらに充実させ、双方向のコミュニケーション強化を図る
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・参観等実施している	・保護者向け支援プログラムや学習機会の充実を図り、家庭支援の強化につなげる	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	特にコメントなし	・支援内容や利用方法について、より分かりやすい説明資料の整備を進める
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・モニタリング以外にも送迎時に話しをしている	・子どもや保護者の意向をより丁寧に把握するため、定期的な面談機会の充実を図る
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	特にコメントなし	・支援内容の理解をより深めてもらうため、説明方法の工夫や資料の充実を図る
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	特にコメントなし	・保護者の悩みに対して継続的に対応できる体制の強化と相談しやすい環境づくりを進める

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	特にコメントなし	・保護者同士の交流機会を計画的に設定し、情報共有や相互支援の場を充実させる
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・イベントや季節の遊びを実施している	・苦情や要望の内容を職員間で共有し、再発防止およびサービス向上につなげる体制を強化する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・定期的にSNSに発信できていて事業所内の様子を伝えられていてとても良いと思う ・SNSを使って毎月の活動内容やねらいを載せて何をしているのか知ってもらおうようにしている	・発信内容の充実を図り、より分かりやすく事業所の取り組みを伝える工夫を行う
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵のある書庫に保管し、管理している	・個人情報管理に関する職員への周知徹底と定期的な確認体制の強化
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・送迎時に情報共有を行っている。必要時はLINEを使用	・多様な伝達手段を活用し、より確実な情報共有体制の構築を図る
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	特にコメントなし	・地域住民との交流機会を増やし、地域に開かれた事業所運営を推進する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	特にコメントなし	・各種マニュアルの定期的な見直しと職員への周知徹底を図る
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	特にコメントなし	・非常時対応訓練の実施機会を増やし、実践的な対応力の向上を図る
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・預かりの薬を定期的に確認することをチェック表などを使うとより良いと思う	・チェック体制の標準化を図り、見落とし防止の仕組みを強化する
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	特にコメントなし	・情報共有の徹底と緊急時対応の確認体制を強化する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	特にコメントなし	・ヒヤリハットの共有を徹底し、安全対策の継続的な見直しを行う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	特にコメントなし	・家族への情報提供を強化し、家庭と連携した安全対策を推進する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	特にコメントなし	・再発防止策の具体化と実施状況の確認を行い、組織的な改善につなげる
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	特にコメントなし	・定期的な研修実施と職員間での意識共有を強化する
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	特にコメントなし	・必要性の検討および代替手段の検討を徹底し、適正な運用と記録管理を強化する	